

津波高潮に即応できるか

東日本大震災受け大阪市港湾局に聞く



職員を集中して津波高潮に即応できるよう建設されたが3年後の廃止が計画されている市港湾局公舎(築港2)。「津波に即応できるのか」との声が上がっている

東日本大震災を心に焼き付けた区民の間で、改めて港区の防災問題、中でも津波高潮対策への関心が高まっています。そこで三月二十八日、大阪市域の水際の防災を担当する大阪市港湾局に、今回の大震災を受けての対応、また港区に直接関わる当面の防災問題である「港湾局職員公舎の廃止計画」(既報)について訊きました。答えは「同局防災保安担当・吉田課長と総務担当・川下係長」。

まず、この度の大震災を受けて、改めてどのような姿勢と対策で職務に臨まれるのか、お聞かせ下さい。

吉田 大阪市では平成二十年「大阪港地震津波対策アクションプラン」を作成しました。これは「マグニチュード8.6、震度5強」が三十年以内に六〇〜七〇の確率で発生し、それに伴う津波が地震発生から二時間以内に二〜三層の高さで大阪港に到達する」と想定し、被害を最小限に食い止めるため、「自助」「公助」「共助」という役割分担で防災力向上と被害の最小化を図る計画です。現在、その達成へ必要な施策を進めています。従来、従来の想定を超える災害発生を受けて、このプランの再検証が必要かどうか検討しています。

川下 津波高潮対策は、発生当日の十五時半、大阪港に「津波注意報」が発表され、十七時までに対象となる三基の閉鎖が完了しました。「注意報」解除は翌日二十時二十分。

津波高潮対策は、発生当日の十五時半、大阪港に「津波注意報」が発表され、十七時までに対象となる三基の閉鎖が完了しました。「注意報」解除は翌日二十時二十分。

津波高潮対策は、発生当日の十五時半、大阪港に「津波注意報」が発表され、十七時までに対象となる三基の閉鎖が完了しました。「注意報」解除は翌日二十時二十分。



海防地区防災・津波一時避難マップ

防災プランの再検証も 公舎廃止は職員減から

防潮扉閉鎖体制「支障ない」

津波時はここへ避難マップ揃う

「津波などで浸水した時にはとてあえずここへ避難できますよ」と住民に知らせるために各小学校下で順次発行された「津波一時避難マップ」が三月、新たに五校下で発行され、全十

一校下に出揃いました。このマップは港区役所が大阪市の二十四区のトップを切り、〇九年三月に築港校下で発行。昨年は磯路など五校下で発行されていました。三月に発行された港晴地区のマップは「写真」には「収容避難所」として港晴められていて、少し安心しましたと話していました。

防潮扉の多くが当夜や翌朝に開いていたのは以上の事情によるものですが、「注意報」に基づく適切な処置であったと考えています。なるほど、では最後に港湾局公舎の廃止計画につ

開放されていた東日本大震災翌夜の安治川沿い防潮扉(1)と翌朝の中央突堤防潮扉(2)。区民の不安の声もあつたが、「津波注意報」では敷居高が基準以下の低い位置にある32基以外は閉鎖しなくてよいということだった

川下 防潮扉閉鎖については、①港湾局職員②地元水防団③防潮扉管理協定締結者(荷役会社等)の三者が連携して対応しており、公舎の有無に関わらず万全の体制を確保しています。このうち①の中心であった公舎居住職員の減少は、市政改革で居住対象職員が減少していることが主な原因です。が、それを補うために「臨港四区とその周辺に居住する職員が最寄りの防潮扉へ三十分以内に到着できる体制」に移行しつつあり、閉鎖体制に支障はないと考えられています。

区民の多くはこの計画を知りませんでしたが、川下 この計画について、は二月に港区の水防・町会関係者に説明申し上げ、ご承を頂いています。今後は、五月に予定されている



防潮扉閉鎖の様子

地域短信



「みなとれ」の発表の様子

みなとれあい福祉のひろば「楽しみながらみんなで福祉を考えるきっかけ」と三月五日、「みなとれあい福祉のひろば」が港区民センターで開催。五回目。実行委員会と港区社会福祉協議会が主催。十時から十五時まで、舞台では演奏や歌や踊りの発表。写真はあゆみ作業所による創作ダンス、ホールやロビーや二階の各会議室などでは高齢者・障害者の作品展示やバザー、工作コーナー、遊びコーナー、本のバザー、絵本の読み聞かせなどが催され、約七百五十名の来場者で賑わった。なお、実行委でもある港区障害者施設連絡会(愛称「ポートネット」)は、平成十五年の福祉イベントをきっかけに生まれた団体で、港区内にある心身に障害を持つ人たちの働く場・社会参加の場である小規模作業所(あゆみ作業所、グリーンス、マレット工房、ふらっと)の集まり。「障害を持つ人たちが、住み慣れた地域で安心して暮らしていけるように」と連携しながら活動している。

その後、「東日本大震災級の地震・津波に対する防災力の向上」という共通の目標に向かって区民と市当局が充分な話し合いを持ち、実質的な連携・協力を進めていくことが期待されます。

「津波高潮対策港の会」のご理解・ご協力を求めていると伺っています。

以上、市港湾局への取材を通じて感じたのは、①大震災を受けて「アクションプラン」の再検証はぜひ実施してほしい②港湾局公舎の再検証は防災力強化の観点からではなく、入居職員減少を背景に「市政改革」推進の立場から出されたものである点に疑問③全区民の防犯に関わる計画の一部閉鎖体制に移行しつつあり、閉鎖体制に支障はないと考えられています。

港区老連女性部と港晴小児童が交流。港区老人クラブ連合会女性部のピアノ演奏部二十数人と港晴小学校三年生児童四十三人が三月八日朝の約一時間、同校音楽室で「交流会」を催した。初めに同会の原田壽女性部長(四月から会長に就任)が、同会がどんな集まりであるかを手作りでパネルで紹介。子どもたちに説明し、続いて園田英子さんの指揮で「明日があるさ」を合同演奏。さらに女性部がピアノ力二曲を演奏し、児童が縦笛で一曲を披露する「プレゼント交換」も行った。終了後、児童たちは「また来て下さいね」と大きな拍手で女性たちを見送った。ピアノ力を演奏した女性や同会事務局の大前眞里子さんは「子供たちはとても元気よく上手に演奏してくれ、大きなエネルギーをもらいました」と話していました。



港区老連女性部と港晴小児童が交流の様子

レンタカー

会員制レンタル(会費0円)

★1,995円(3時間)より★

取扱車種 乗用車・軽トラック・ライトバン
ステーションW・8人乗りW・他

(会員制レンタル)
カーシェア タニムラ

http://carshartanimura.is-mine.net/

弁天4-10-26 ☎6571-2355 受付平日8:30~18:00

子や孫に自分の人生を残そう!

お話をききとり、冊子にしてお渡します。

400字(原稿用紙1枚)で、千円が標準料金です。

勤務先に出掛け喜ばれた女学校時代。戦後は焼け野原でバラック生活。夫と力を合わせ、2人の子を育て上げ、夫の死後は女学校時代の空白を埋めようと学び続けています。そんな人生から子や孫が何かを学んでほしいと願い、冊子にして頂きました。(田中・80代女性)

田中3-3-3 飯田編集事務所 ☎6571-4636

収納スペース足りていますか?

最新型 **トランクルーム キュラーズ** が解決!

- 押入れ代わりに使ってスッキリ生活
- 引越、リフォームの一時保管にも最適

万全のセキュリティ 24時間出し入れ自由
空調完備 敷金、礼金、管理費なし

5ヶ月 20%OFF キャンペーン実施中!

BOXタイプ 0.5畳 1畳
2160円 4720円 7520円

電話受付時間9:00~21:00(土日祝19:00まで)

Quraz ☎0120-15-9780

先着10名様限定!

ご契約プレゼントクーポン2000円

有効期限:2011年4月15日
他のクーポンとの併用は不可